

令和5年度

寄宿舍

# 『キラリ&ホット』通信

『友達と共に高め合い自立できる生徒』



2024.1.31 1月号 文責：寮務主任 揚張

3学期が始まりました。寄宿舍もいつもの日常が…と言いたところですが、スタートから盛りだくさん！始業式の日には皆で夕食作り。舎生達で考えた回鍋肉で舌鼓。甘酒体験や、静岡北特別支援学校のグラウンドでの凧あげ。舎監の先生のサクソ演奏会などなど。卒業までのカウントダウン・カレンダーの寂しさも吹き飛ばすようなひと月でした。

## 《舎監日誌より》

夕飯は、舎生が協力して作った回鍋肉。ご飯やみそ汁も自分たちで作ったとのことでした。作った舎生達に「おいしかった。」と伝えると、誇らしげな表情でした。いつも以上に、お腹いっぱいになるまで食べた様子の舎生達でした。



前回の舎監で、舎生のMさんにリクエストされたSAXの演奏をしました。その場で曲のリクエストをもらい、時々つかえながらも吹いていくと、「おおっ！」「すごい！」と褒めてくれました。演奏後は「楽器はいくらですか？」「どこのメーカーですか？」と話が弾みました。真剣にイントロクイズを答えたり、リクエスト曲を考えたりするキラリ&ホットが見られ、今までより舎生の色々な面を知ることができました。

「先生気が付きましたか？」と高2の舎生が研修室の前で聞いてきました。「ああ、気が付いたよ。」前回の舎監では無かったものがありました。それは“卒業までのカウントダウン”、今日の時点であと27泊となっていました。「寂しくなるね。」と声を掛けると、「はい。」と答えてくれました。残り27泊、楽しい思い出を一つでも多く作って欲しいと思います。



二日続けて入舎体験をした生徒も、慣れてきたようで自分から視線を合わせてきたり、チョコチョコと膝をくすぐってきたりしました。『KANGI Time』の時間に、ダイビングの動画や写真を見た時、“魚”と思いきや水中ポストが出てきて「新種（の魚）か！」とケタケタ笑いながらツッコミを入れていました。これからもいろいろな体験が積みあがっていくことを見守っていきたいです。